

研究タイトル：

## 持続可能な建築生産に関する研究



氏名：	横山秀樹 / YOKOYAMA Hideki	E-mail：	h.yokoyama@cc.miyakonojo.nct.jp
職名：	准教授	学位：	工学修士
所属学会・協会：	日本建築学会、建築士会連合会		
キーワード：	建築生産学、学校建築統括設計、建築教育研究		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築関係国家資格受験対策や建築専門教育に関すること。</li> <li>・学校建築における基本設計・統括設計に関すること。</li> </ul>		

### 研究内容： 社会資本整備等を担う建築生産における高レベル建築技術者育成に関する研究

現在、各都道府県における一級建築士の年齢別割合は、宮崎県や鹿児島県など地方においては県全体の2/3以上が60歳以上であり、一級建築士が高齢化と共に、建築生産する現場においては、一級建築士や1級建築施工管理技士など高レベルの国家資格を有する建築技術者の不足が目立ってきています。

建築生産の設計現場においては、一級建築士による建築設計業務が輻輳し、設計業務の完成に遅れが生じたり、その完成度に影響が生じたりしています。施工現場においては、専任の監理技術者・主任技術者が不足、円滑に工事着手できないなど、建築生産する上で諸々の影響が生じています。

一方、建築生産する上で、耐震化・高層化・高機能化・複合化など、社会的に建築技術者に対して求められる知識・技術・経験等の期待される資質レベルは年々高くなっています。

国は、これらの現状に着目し、今後の建築技術者の不足をいち早く解消し、将来の建築生産に資するため、建築士法や建設業法などの技術検定制度を見直し、若年層に対して、これらの技術検定が受験できるよう改定し、積極的に高レベル建築技術者の養成とその確保について努めています。

そこで、令和2年3月から改定された建築関係法令と各種制度の施行と、そのような将来の建築生産に大きく影響する若年層への高レベル建築技術者養成のための専門教育の在り方との関係性に着目し、地元の地場産業的な要素が強く、災害などの緊急事態には欠かせない、多くの高レベル有資格技術者が必要な建築産業が、将来においても、持続可能な状況をつくるため、諸調査・研究し、自らもその育成実践に携わりながら、社会貢献して行きます。

### 提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	